

平成27年度

富山県東部消防組合一般会計  
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員



平成28年 6 月30日

富山県東部消防組合  
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合  
監査委員 石 倉 勝 巳

監査委員 明 和 善一郎

平成27年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成27年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。



## 平成27年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

### 1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

平成27年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算

(2) 付属書類

平成27年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成27年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

平成27年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

### 2 審査の期日と場所

期 日 平成28年6月30日

場 所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

### 3 審査の方法

審査は、平成27年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

### 4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

### 5 決算の概要

平成27年度の一般会計の決算額は、予算総額1,150,325,000円に対し、歳入1,151,065,478円（予算対比100.1%）、歳出1,118,934,329円（予算対比97.3%）であり、差引形式収支額は32,131,149円である。前年度決算額と比較して歳入で530,559,460円の減、歳出で520,852,840円の減となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は32,131,149円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支32,131,149円の黒字となった。

なお、当年度実質収支32,131,149円から前年度実質収支41,837,769円を差し引いた当年度の単年度収支は9,706,620円の赤字となっている。

## 決 算 収 支 状 況

(単位：円)

年 度	会 計	歳 入 A	歳 出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
27	一般	1,151,065,478	1,118,934,329	32,131,149	0	32,131,149	41,837,769	△9,706,620
	計	1,151,065,478	1,118,934,329	32,131,149	0	32,131,149	41,837,769	△9,706,620
26	一般	1,681,624,938	1,639,787,169	41,837,769	0	41,837,769	8,949,259	32,888,510
	計	1,681,624,938	1,639,787,169	41,837,769	0	41,837,769	8,949,259	32,888,510
増 減	一般	△530,559,460	△520,852,840	△9,706,620	0	△9,706,620	32,888,510	△42,595,130
	計	△530,559,460	△520,852,840	△9,706,620	0	△9,706,620	32,888,510	△42,595,130

なお、平成27年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
富山県総合防災訓練への参加及び高速道路救急・救助訓練の実施	平成27年9月6日、魚津市を主会場として富山県東部消防組合管内8会場で実施された、大規模火災対応等、実践的かつ広域的な訓練に参加した。 また、平成27年10月7日、高速道路上での多重衝突事故を想定した模擬訓練を、海の駅蜃気楼周辺で実施した。
コンプレッサーの更新	空気ボンベ充填用コンプレッサーの老朽化に伴い、これを更新した。
滑川消防庁舎防水改修工事	滑川消防庁舎屋上等の防水工事を実施した。

## 6 一般会計

平成27年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 1,151,065,478円（予算対比100.1%）

歳出 1,118,934,329円（予算対比 97.3%）

この差引残額（形式収支）32,131,149円から、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支32,131,149円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支32,131,149円から前年度実質収支41,837,769円を差し引いた当年度の単年度収支は9,706,620円の赤字となっている。

### (1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現 額対比	調定額 対比
27年度	1,150,325,000	1,151,065,478	1,151,065,478	0	0	100.1%	100.0%
26年度	1,738,413,000	1,681,624,938	1,681,624,938	0	0	96.7%	100.0%

#### ① 収入状況

予算現額に対する収入割合は100.1%であり、前年度収入済額と比較して530,559,460円の減となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は1,100,248,231円で全体の95.6%を占めている。以下、使用料及び手数料が1,768,050円で0.2%、県支出金が6,213,399円で0.5%、繰越金が41,837,769円で3.6%、諸収入が998,029円で0.1%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

#### 収 入 状 況

（単位：円）

区 分	予算現額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損 額	収入 未済 額
			金 額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及 び負担金	1,100,249,000	1,100,248,231	1,100,248,231	95.6	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及 び手数料	1,610,000	1,768,050	1,768,050	0.2	109.8	100.0	0	0
3. 県支出金	6,600,000	6,213,399	6,213,399	0.5	94.1	100.0	0	0
4. 繰越金	41,838,000	41,837,769	41,837,769	3.6	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	28,000	998,029	998,029	0.1	3564.4	100.0	0	0
計	1,150,325,000	1,151,065,478	1,151,065,478	100.0	100.1	100.0	0	0

## ② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は44,603,848円、依存財源は1,106,461,630円となっており、その構成比は、自主財源3.9%、依存財源96.1%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源99.3%、特定財源0.7%となっている。

### 第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
27年度	1,100,249,000	1,100,248,231	1,100,248,231	0	0	100.0%	100.0%
26年度	1,017,431,000	1,017,431,000	1,017,431,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,100,248,231円で、歳入総額に占める割合は全体の95.6%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市481,921,788円、滑川市352,537,487円、上市町232,654,635円、舟橋村33,134,321円となっている。

### 第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
27年度	1,610,000	1,768,050	1,768,050	0	0	109.8%	100.0%
26年度	1,904,000	1,921,600	1,921,600	0	0	100.9%	100.0%

収入済額は1,768,050円で、歳入総額に占める割合は全体の0.2%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分418,900円、滑川市分761,700円、上市町分585,650円、防火管理講習修了証再交付手数料1,800円となっている。

### 第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
27年度	6,600,000	6,213,399	6,213,399	0	0	94.1%	100.0%
26年度	3,100,000	2,711,539	2,711,539	0	0	87.5%	100.0%

収入済額は6,213,399円で、歳入総額に占める割合は全体の0.5%となっており、収入済額の内訳は、消防施設整備事業費補助金3,038,000円、県消防学校派遣職員人件費負担金3,175,399円となっている。



#### 第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
27年度	41,838,000	41,837,769	41,837,769	0	0	100.0%	100.0%
26年度	8,950,000	8,949,259	8,949,259	0	0	99.9%	100.0%

収入済額は41,837,769円で、歳入総額に占める割合は全体の3.6%となっており、収入済額の内訳は、平成26年度繰越金となっている。

#### 第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
27年度	28,000	998,029	998,029	0	0	3564.4%	100.0%
26年度	28,000	311,540	311,540	0	0	1112.6%	100.0%

収入済額は998,029円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、消防広域応援交付金635,000円、共済事務等手数料131,035円、講習会場提供謝礼80,000円、地方公務員災害補償基金負担金精算金57,776円、預金利息43,752円、気象観測謝礼31,820円、その他18,646円となっている。

### (2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
27年度	1,150,325,000	1,118,934,329	0	31,390,671	97.3%
26年度	1,738,413,000	1,639,787,169	0	98,625,831	94.3%

#### ① 支出状況

予算現額に対する執行率は97.3%であり、前年度支出済額と比較して520,852,840円の減となっている。

支出の主なものは、組合議会費839,407円、組合運営費125,774円、監査委員費51,109円、職員給与費882,052,638円、消防本部運営費104,923,211円、魚津署運営費16,441,253円、滑川署運営費14,328,413円、上市署運営費15,439,490円、舟橋分遣所運営費4,036,255円、魚津署施設整備費473,000円、滑川署施設整備費2,570,400円、起債償還利子6,915,379円、起債償還元金70,738,000円である。

決算額を性質別(構成比)にみると、義務的経費では、人件費で872,883千円(78.0%)、物件費で138,640千円(12.4%)、維持補修費で902千円(0.1%)、扶助費で10,860千円(1.0%)、補助費等で14,953千円(1.3%)で、公債費で77,653千円(6.9%)、義務的経費全体では1,115,891千円となり、決算総額の99.7%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で3,043千円となり、決算総額の0.3%を占めている。

#### 性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	27年度決算額	構成比
1 人件費	872,883	78.0%
2 物件費	138,640	12.4%
3 維持修繕費	902	0.1%
4 扶助費	10,860	1.0%
5 補助費等	14,953	1.3%
6 公債費	77,653	6.9%
うち元金	70,738	6.3%
うち利子	6,915	0.6%
計	1,115,891	99.7%
7 投資的経費	3,043	0.3%
普通建設事業	3,043	0.3%
うち単独事業	3,043	0.3%
歳出合計	1,118,934	100.0%

支出状況は、次の表のとおりである

### 支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比	執行率		
			(%)	(%)		
1. 議会費	913,000	839,407	0.1%	91.9%	0	73,593
2. 総務費	294,000	176,883	0.1%	60.2%	0	117,117
3. 消防費	1,067,092,000	1,040,264,660	92.9%	97.5%	0	26,827,340
4. 公債費	81,026,000	77,653,379	6.9%	95.8%	0	3,372,621
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
計	1,150,325,000	1,118,934,329	100.0%	97.3%	0	31,390,671

#### 第 1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
27年度	913,000	839,407	0	73,593	91.9%
26年度	913,000	692,679	0	220,321	75.9%

支出済額は839,407円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっている。

不用額は73,593円で、予算現額に対する執行率は91.9%となっている。

#### 第 2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
27年度	294,000	176,883	0	117,117	60.2%
26年度	287,000	159,824	0	127,176	55.7%

支出済額は176,883円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費125,774円、監査委員費51,109円となっている。

不用額は117,117円で、予算現額に対する執行率は60.2%となっている。

**第3款 消防費**

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
27年度	1,067,092,000	1,040,264,660	0	26,827,340	97.5%
26年度	1,726,309,000	1,633,188,873	0	93,120,127	94.6%

支出済額は1,040,264,660円で、歳出総額に占める割合は全体の92.9%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費882,052,638円、本部運営費104,923,211円、魚津署運営費16,441,253円、滑川署運営費14,328,413円、上市署運営費15,439,490円、舟橋分遣所運営費4,036,255円、魚津署施設整備費473,000円、滑川署施設整備費2,570,400円となっている。

不用額は26,827,340円で、予算現額に対する執行率は97.5%となっている。

**第4款 公債費**

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
27年度	81,026,000	77,653,379	0	3,372,621	95.8%
26年度	9,904,000	5,745,793	0	4,158,207	58.0%

支出済額は77,653,379円で、歳出総額に占める割合は全体の6.9%となっており、支出済額の内訳は、起債償還利子6,915,379円、起債償還元金70,738,000円である。

不用額は3,372,621円で、予算現額に対する執行率は95.8%となっている。

なお、平成28年3月末現在で、起債償還残高は元金で1,255,322千円となっている。

**第5款 予備費**

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
27年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
26年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

平成27年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

## 7. 財産管理

### (1) 土地について

該当なし

### (2) 建物について（平成27年度中の異動なし）

本部通信指令センター 延床面積579.01㎡

上市消防署舟橋分遣所 延床面積273.06㎡

### (3) 物品について（平成27年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	数量
(本部)	テント一式	3
	コンプレッサー一式	1
	折りたたみテーブル	16
	折りたたみ椅子	50
	訓練用消火器	18
(魚津署)	ウェットスーツ	3
	個人携帯用ガス検知警報器	5
	消防用ホース	10
(滑川署)	水難救助訓練用人形	1
	空気呼吸器用軽量ボンベ	1
	救助訓練用張力計	1
	消防用ホース	20
	救急車積載用AED	1
	救助訓練施設用安全ネット	1
(上市署)	吸水管	1
	印刷機	1
	空気呼吸器用軽量ボンベ	2
(舟橋分遣所)	放水用ノズル	1
	消防用ホース	10
	空気呼吸器一式	3
	空気呼吸器用軽量ボンベ	2

## 8. 意見

### (1) 組合債の償還について

平成28年3月末現在で、起債償還残高は元金1,255,322千円、今後利子を含めると1,295,722千円の返済を要する。

平成28年度においても新たな起債の借入れが予定されているが、今後とも計画的な発行及び返済に努めていただきたい。

### (2) 組合が保有する情報の保護体制の構築について

災害等発生時における組合の情報保護対策については、富山県東部消防組合においてもデータ等が損なわれることの無いよう措置を講じられたい。

### (3) 契約について

契約、特に電算処理関係の契約に際しては、仕様書等の内容を十分精査したうえで、適切な価格をもって契約業務を行われたい。

## 9. むすび

以上、平成27年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べた。

予算の執行に際しては、関係諸帳簿等は正確に処理されており、事務事業の執行については、関係法令に準拠して適切に執行されていた。

組合として4年目を迎えるが、本部、各署においては、なお一層の経費節減を図りつつ、合理的かつ効率的な予算執行となるよう努力されるとともに、地域住民が安心して安全に暮らせるよう、引き続き消防広域化のメリットを十分に生かした火災・救急・救助体制の充実、強化に努められたい。